



令和6年10月28日
国土交通省関東地方整備局
荒川下流河川事務所

関係機関と連携した、現地実動訓練を実施します

～大規模地震時の迅速な災害対応を目指して～

荒川下流防災施設運用協議会では、大規模地震に備え荒川下流部に整備している河川防災施設の運用検証及び利用習熟等を目的に平成24年から実動訓練を実施しております。

今年は江東区の新砂リバーステーションを活用し、現地実動訓練を通じて関係機関との連携を深め、今後起こりうる大規模地震への備えを進めてまいります。

訓練名称：令和6年度荒川下流防災施設現地実動訓練

日時：令和6年11月1日（金）13：00～15：00

※長距離移動がある場合等、一部訓練は午前中の開始を想定しています。

場所：江東区（新砂リバーステーション）

参加団体：警視庁、東京消防庁、海上保安庁、陸上自衛隊、東京都、東京都公園協会、埼玉県、埼玉県河川公社、埼玉県警察、東京国道事務所、大宮国道事務所、京浜河川事務所、江戸川河川事務所、江東区、荒川下流河川事務所

■取材申込■ 取材をご希望される報道関係者は10月31日（木）15時00分までに、以下のとおり、メールにて事前登録をお願いいたします。

件名 【取材希望】令和6年度荒川下流防災施設現地実動訓練

本文 氏名（ふりがな）、所属、連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）
車両ナンバー（車で来場する場合）

送付先 ktr-arage-press@mlit.go.jp

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 都庁記者クラブ 神奈川建設記者会
川口市記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局

荒川下流河川事務所

電話：03-3902-2311（代表） メールアドレス：ktr-arage-press@mlit.go.jp

総括地域防災調整官 鈴木（すずき）（内線：206）

地域防災調整官 増井（ますい）（内線：304）

新砂緊急用船着場で大規模地震を想定した訓練を実施します

この訓練は、荒川河川敷に整備した船着場や河川敷道路等を災害時に有効に活用するため、各施設の利便性や機能の確認、各災害対応機関の利用習熟等を目的として実施するものです。

令和6年

荒天時中止

11月1日(金)

13:00 ~ 15:00 (予定)

訓練場所 新砂緊急用船着場及び周辺河川敷



物資輸送訓練



部隊輸送訓練



緊急物資授受訓練



水上情報共有訓練



接舷移乗訓練



帰宅困難者輸送訓練



緊急用河川敷道路調査訓練



機材運搬訓練

葛西橋

清砂大橋

荒川

訓練会場
(新砂緊急用船着場)



消火用水取水訓練

立入禁止範囲 12:30~15:30

船着場

荒川

訓練へのご理解、ご協力をお願いします。

- 「メイン会場」周辺で、12時30分から15時30分の間、立入禁止となります。
- 訓練を行う際には、一時的に大きな音や砂塵が発生する場合があります。
- 立入禁止区域外からの見学は可能ですが、現地検証を目的とした訓練のため、訓練の説明等は行っておりません。
- 清砂大橋～会場付近では訓練車両等の通行がありますのでご注意ください。

- ・大型の車両等が緊急用河川敷道路を走行します。
- ・上記立入禁止時間は、訓練の進行状況により変更になる可能性があります。
- ・上記訓練内容は、実災害対応等により変更になる可能性があります。

お問合せ先

国土交通省
江東区

荒川下流河川事務所 流域治水課
総務部 危機管理室 防災課

TEL:03-3902-3220
TEL:03-3647-9584

首都圏で大地震が！ そのとき荒川は…

どのような混乱が起こるのか？

フェーズ1(発災～1日後程度)

住民等の利用 ▶ **大規模火災時等の避難場所**

緊急物資の輸送
川も被災しているところもあるね。
どこにいれば安全かな。
車に気をつけてね。
舗装された道があったよかった。
被災状況の点検

災害対応での利用 ▶ **ヘリの離着陸**
点検・パトロールの実施

大規模な地震が発生し、市街地に火災等が発生した場合には、住民等の河川敷への避難が想定されます。一方、災害対応の活動が始まると、被災状況の点検・パトロール等のために緊急車両が緊急用河川敷道路や緊急用橋梁アクセス道路を通行したり、臨時のヘリポート等として河川敷を利用する可能性があります。

フェーズ2(1日後～3日後程度)

避難者の移動 **残留避難者の滞留**

緊急物資の輸送
工事が始まりそうだから別の場所に移したよ。
応急復旧の実施
ここは車が通る道だったんだね。
緊急車両の通行

応急復旧の実施
緊急車両等の通行

24時間以降、火災等が収まると、避難者は、避難していた河川敷から自宅や市区で指定している避難所へ移動することが想定されます。河川敷では、被災個所の復旧活動が行われたり、救助・救出活動が本格的に始まり、引き続き、緊急車両の通行や臨時のヘリポート等として河川敷を利用する可能性があります。

フェーズ3(3日目以降)

帰宅困難者の移動 **残留避難者の滞留**

支援物資の輸送
帰宅困難者の輸送
支援物資の集積
ここは大丈夫かな。
大きな車がたくさん走ってるね。
大型車両の通行

緊急輸送路として大型車両の通行
支援物資などの集積場所

3日目以降は、帰宅困難者の移動や復旧・復興に向けた活動が始まる時期です。河川敷では、支援物資や復旧・復興の資機材の運搬等が開始され、大型車両や重機が通行するほか、広域応援部隊の移動や活動拠点として河川敷を利用する可能性があります。

※フェーズ毎の状況はあくまでも目安であり、大規模な余震の発生等により時期がずれ込む可能性があります。

大規模地震発生時の荒川の機能

荒川下流部には、避難場所や各種物資の輸送ルート、広域応援部隊の活動拠点等として利用できる施設や広いオープンスペースがあります。これらを併せて「河川防災施設」と呼び、以下のような機能を担うことが期待されています。

緊急用河川敷道路・ 緊急用橋梁アクセス道路



緊急用船着場



河川敷



緊急輸送道路や荒川(水路)をつないで
様々な人や物資を運ぶ **輸送路** としての機能

火災からの避難場所、
様々な災害対策に利用される
オープンスペース としての機能

河川防災施設 の詳細はこちらへ

荒川下流防災施設運用協議会

大規模地震発生時に荒川下流部の防災施設を有効かつ円滑に活用することを目的に、沿川の自治体・消防・警察・自衛隊等の防災関係機関で構成される協議会を平成23年に設立し、「荒川下流防災施設活用計画」を平成25年2月に策定しました。

本協議会では、防災担当者間の情報交換・連携の場として「顔が見える関係」の構築、「組織の立場を超えた」自由な発想による議論を前提としたワークショップや現地実動訓練による検証を継続的に実施し、活用計画の改善に取り組んでいます。

荒川下流防災施設
活用計画 [公表版]



荒川下流防災施設運用協議会

川口市 / 戸田市 / 墨田区 / 江東区 / 北区 / 板橋区 / 足立区 / 葛飾区 / 江戸川区 / 埼玉県 / 埼玉県警察本部 / 東京都 / 警視庁 / 東京消防庁 / 陸上自衛隊 / 荒川下流河川事務所 及び 荒川区、海上保安庁、荒川上流河川事務所、東京国道事務所、大宮国道事務所

令和6年度 荒川下流防災施設現地実動訓練 実施概要

【訓練概要】

- ① 消火用水取水訓練
- ② 緊急用河川敷道路調査訓練
- ③ 部隊輸送訓練(上下流移動)
- ④ 機材運搬訓練(対岸移動)
- ⑤ 接舷移乗訓練
- ⑥ 緊急物資授受訓練
- ⑦ 水上情報共有訓練
- ⑧ 物資輸送訓練
- ⑨ 帰宅困難者輸送訓練

報道関係者取材について

- ・受付場所は新砂緊急用船着場となります。
- ・受付時間は12時30分から12時50分に行います。
- ・車両でお越しの場合は、申込時のメールにて車両のナンバーを記載し、清砂大橋下に駐車をお願いいたします。
- ・清砂大橋から新砂緊急用船着場までは徒歩(10分程度)かシャトルバスをご利用ください。
- ・シャトルバスは12時00分発から運行し12時30分発が最終便となります。

一般見学について

見学者の受け入れは行っておりません。

【参考】令和5年度実施状況

この訓練は、荒川河川敷に整備した河川防災施設の災害時の有効活用のため、各施設の利便性や機能の確認、各災害対応機関の利用習熟等を目的として実施しました。

訓練日時

令和5年11月10日(金)13:00~16:00

訓練場所

平井水上ステーション及び平井運動公園周辺河川敷

参加機関

東京都・公益財団法人東京都公園協会、警視庁(小松川警察署・東京湾岸警察署)、東京消防庁(江戸川消防署・向島消防署立花出張所・日本橋消防署浜町出張所)、海上保安庁第三管区海上保安本部東京海上保安部、東京国道事務所、大宮国道事務所、江戸川区役所及び江戸川区住民、荒川下流河川事務所・協定会社



主催

荒川下流防災施設運用協議会

実施規模

訓練実施機関 8機関 116人(延べ)
協議会機関、協力機関 11機関 38人



① 河川敷避難訓練	江戸川区役所・江戸川区住民、警視庁(小松川警察署)	平井水上ステーション周辺河川敷	12:30~12:50
② 河川敷移動訓練	大宮国道事務所	緊急用河川敷道路	~12:50
③ 避難者情報提供訓練	江戸川区住民、荒川下流河川事務所	平井水上ステーション周辺河川敷	13:15~13:20
④ 水面救助訓練	海上保安庁第三管区海上保安本部東京海上保安部	平井水上ステーション	13:20~13:50
⑤ 支援物資輸送訓練	東京都・(公財)東京都公園協会、江戸川区役所	平井水上ステーション	13:50~14:05
⑥ 道路啓開訓練	東京国道事務所、大宮国道事務所	平井水上ステーション	14:05~14:10
⑦ 緊急物資輸送訓練	海上保安庁第三管区海上保安本部東京海上保安部、江戸川区役所	平井水上ステーション	14:10~14:20
⑧ 資機材輸送訓練	荒川下流河川事務所・協定会社	平井水上ステーション	14:20~14:40
⑨ 帰宅困難者輸送訓練	東京都・(公財)東京都公園協会、警視庁(東京湾岸警察署・小松川警察署)、江戸川区役所・江戸川区住民	平井水上ステーション	14:40~15:05
⑩ 消火用水取水訓練	東京消防庁(江戸川消防署・向島消防署立花出張所・日本橋消防署浜町出張所)、荒川下流河川事務所	平井水上ステーション	15:05~15:30

① 河川敷避難訓練 ▶小松川警察署の誘導にり、地元住民がいつとき避難場所から大規模火災時の避難場所である荒川河川敷までの避難を実施



地元住民が小松川警察署の誘導により避難を開始



荒川の堤防に到着し、避難階段を上る



河川敷への避難が完了

② 河川敷移動訓練 ▶大宮国道の啓開車両が、緊急用河川敷道路を走行した移動検証を実施



笹目橋から緊急用河川敷道路へ進入



緊急用河川敷道路内のゲートを開錠して通過



平井水上ステーションに到着

③ 避難者情報提供訓練 ▶荒川下流河川事務所が河川敷避難者に向けて河川敷放送設備を用いた情報提供を実施



河川敷放送設備より放送



避難者が河川敷で放送内容を確認

④ 水面救助訓練 ▶海上保安庁東京海上保安部の監視取締艇「かぺら」が、水面を漂流する被災者の救助を実施



水面を漂流する被災者を発見



監視取締艇「かぺら」が現場に急行



被災者を水面から救助

⑤ 支援物資輸送訓練 ▶東京都の防災船である公園協会の水上バス「こすもす」が、平井水上ステーションに支援物資を水上輸送。平井水上ステーションで江戸川区の輸送用車両に積み替え、陸路輸送を実施



支援物資を載せた水上バス「こすもす」が平井水上ステーションに到着



江戸川区職員がバケツリレーにより支援物資を搬出



支援物資を江戸川区の輸送車両に積み替え



⑥により啓開された道路を通過して葛西防災拠点に向けて出発

⑥ 道路啓開訓練 ▶東京国道事務所、大宮国道事務所により放置車両の移動を実施



ジャッキをタイヤの下に装着し、車体を持ち上げ



車を横から押して移動

⑦ 緊急物資輸送訓練 ▶海上保安庁東京海上保安部が、緊急物資を水上輸送し、江戸川区職員に受け渡し



海上保安庁東京海上保安部の船舶が着岸



緊急物資を江戸川区職員に受け渡し

⑧ 資機材輸送訓練 ▶赤羽警察署、王子警察署、志村警察署と大宮国道事務所により放置車両の移動を実施



資機材を載せた「あらかわ号」が到着



荒川下流河川事務所の協定会社の車両が到着



資機材を下ろし、設置場所に運ぶ

⑨ 帰宅困難者輸送訓練

▶余震の発生を受け帰宅困難者を乗せた東京都公園協会の上水バスから水上バス職員が東京湾岸警察署の警備艇に移乗し、船着場の安全を確認。水上バスは、安全確認後に着岸し、小松川警察署により帰宅困難者の下船支援、誘導を実施



水上バスに警備艇が接舷。水上バス職員が移乗



水上バス職員は、先行して船着場の安全を確認。安全を水上バスに連絡



船着場の安全確認後、水上バスが着岸し、帰宅困難者が下船



小松川警察署署員により帰宅困難者を避難所へ誘導



夜間照明用の資機材を組み立て



照明設備を点灯

⑩ 消火用水取水訓練 ▶荒川下流河川事務所の排水ポンプ車及び東京消防庁の消防艇で河川水を取水し、江戸川消防署、向島消防署立花出張所が消防ポンプ車で消火用水を放水する連携訓練を実施



消防ポンプ車と荒川下流河川事務所の排水ポンプ車が出勤



荒川からの河川水を取水し、中継プールへ貯水



東京消防庁の消防艇が着岸し、荒川からの河川水を消防ポンプ車に送水



送水を受けた消防ポンプ車から消火のため放水